

科目名	舞踊実習 I～VIII (ジャズダンス)	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	神戸 珠利	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

ミュージカルの三大要素の一つであるダンスの基礎を学ぶとともに、舞台、オーディションなどで必要なダンステクニックの向上を目指します。春期、秋期に各1曲を仕上げます。

舞台人としての挨拶、マナーも身につけます。

＝履修の条件と学習の方法＝

身体を動かすことが主になるため、動きやすい服装で受けること。

日常生活から怪我などに注意すること。又、授業は毎回ウォーミングアップから始めるため、故障しないためにも時間を厳守すること。

授業時間外にもできるだけミュージカル、ダンスなどの公演を見たり、動画を見たり、積極的にダンスに触れる時間をもつこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 「正しいウォーミングアップ1」フロアで柔軟を行う上での正しい身体のほぐし方、筋肉の鍛え方
- 3回 「正しいウォーミングアップ2」身体の各部位、首、肩、腰、膝、足首の使い方
- 4回 「ダンステクニック1」（ステップ）ステップを踏むうえでのバランスの移動
- 5回 「ダンステクニック2」（ターン）回転するうえでの身体の軸のとり方、スポットのつけ方
- 6回 「ダンステクニック3」（ジャンプ）より高く、より美しく飛ぶためのタイミングのとり方
- 7回 「振付1」ダンステクニック123を使って振付
- 8回 「振付2」振付1の続きを振付
- 9回 「振付3」振付2の続きを振付
- 10回 「振付4」振付3の続きを振付
- 11回 「振付5」振付4の続きを振付
- 12回 「踊り込み1」振付1～5を踊り込みます
- 13回 「踊り込み2」踊りに必要なキレ、タメを重視し完成度を上げます
- 14回 「踊り込み3」お互いの踊りを客観的に見るにより自分自身の踊りを見直します
- 15回 「総まとめ」実際の舞台をイメージし、発表します

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席率50%、授業開始日から終了日までの個々の上達の度合いを見込んだ上で、最終発表の仕上がり、学んだテクニック（ステップ、ターン、ジャンプ）がきちんと修得されているかどうかを50%とし評価します。

＝テキスト（必携）＝

特になし